

勸善懲惡錦画図解

第廿九號



當六月廿七日此のこと
 町の質屋小倉某の娘おろは
 同所より駒込へ通ふ元加州邸の新道
 古池のほとりを通りし大いなる松の
 木の倒れし有て動きたるふ
 驚きてよく見れば、蝮蛇をりし、
 大きに驚て膽魂も身もたふさ走り
 歸りて目くるま三日経て死するも
 府内小元様の事有すきと思はる
 れど元大名やきといふもの、廣大なるもの
 きて深藪なる山林をともつれば、蝮蛇も棲は
 きつむり、つゞきあう、吞まれぬうちハ
 別条を、膽をえくさ死ぬほどの
 こゝろ、あられど今年十六歳のみ婦
 みて、無理も、つゞれむべき
 ことなり

時習舎主人誌
 笹木芳瀧画

出版所

本町四丁目
 藤井時習舎

勸善懲惡錦画図解 29号 文庫10-8072-12

早稲田大学図書館蔵／Waseda University Library